

アイリス(ダッチアイリス)
Iris hollandica
 (アヤメ科)

生け花の花材や仏花としてよく用いられる球根切り花である。切り花用には、‘ブルー・ダイヤモンド’や‘ブルー・マジック’等青色の品種が多く生産されている。花被は鮮やかな青色に黄色の筋が入る。10月から翌春の季咲きまでの出荷で、高温になると著しく日持ちが悪くなる。品質保持上は、花被の伸長や展開が停止して老化し不開花となることが最大の問題点で、低温で貯蔵した切り花で発生しやすい。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
開花	A: 苞葉から花被が出現する B: 外花被が展開する C: 外花被が完全に展開し内花被が分かれる D: 花被が萎縮(老化)する あるいは E: 花被の伸長, 展開が止まり不開花となる	
花被のしおれ	A: しおれなし B: 外花被の弁縁が萎れる C: 外花被の弁縁が萎れて巻き込む D: 外花被全体が激しく萎れて退色し, 内花被にも萎れが発生する	花被は激しく萎れた後, 白っぽい壊死斑が発生する。
葉の黄変	A: 黄変なし B: 葉先2cm程度が黄変する C: 葉先の黄変が基部方向へ進行する, あるいは, 苞葉の葉縁が黄変する D: 黄変が基部まで進行して, 葉, 苞葉が全体的に黄色くなる	葉先は黄変後に褐変し, 壊死状態となる。葉先の黄変と苞葉の黄変は通常同時進行する。
軟弱茎	A: 花茎が直立している B: やや軟弱となる C: 花首が曲がる(45° 以内) D: 花茎が著しく曲がる(45° 以上) あるいは E: 折れる	
その他	茎の腐り, 2番花の開花など。	

2) 留意点

評価温度を20℃とする。

茎に球根組織がついている場合は, 取り除いてから用いる。

後処理剤を使用すると2番花が開花することがあるが, 調査対象は1番花のみとする。

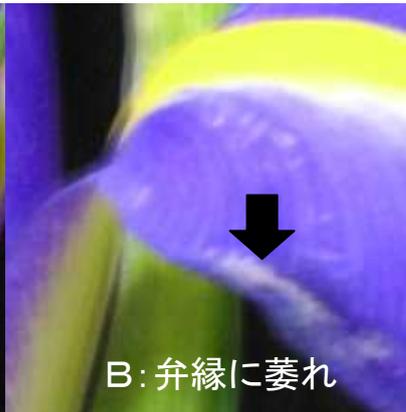
1週間程度の日持ちしか得られないが, 花被が完全に展開して開花することを確認する。

低温, 寡日照下で生産された切り花では不開花が発生しやすい。

3) 開花



4) チェック事項



花弁の萎れ

不開花



花茎の曲がり・折れ



葉の黄変

